

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆11月月例報告、景気判断「緩やかに回復」維持

・政府は11月の月例経済報告を公表。国内の景気判断は「米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している」と先月の判断を維持。輸入の判断は先月の「持ち直しの動きがみられる」から「おおむね横ばいとなっている」に9カ月ぶりに下方修正。スマートフォンや衣類などのアジアからの輸入が弱かった。

◆17分野に重点投資、財政の持続可能性も明記 26年度予算方針案が判明

・政府の2026年度の予算編成における基本方針の原案が判明した。人工知能(AI)・半導体、造船など17の戦略分野に重点的に投資する方針を記した。政府債務残高を対国内総生産(GDP)比で引き下げ、「財政の持続可能性を実現する」と明記した。高市早苗政権で初めて編成する当初予算案の基本方針になる。

◆日本経済の需給ギャップほぼ均衡 7～9月期はマイナス0.0%

・内閣府は日本経済の需要と供給の差を表す需給ギャップが7～9月期はマイナス0.0%となり、ほぼ均衡していたとの推計結果を発表した。年換算での需要不足額は2000億円となる。全体を再計算し3期ぶりの需要不足となったが、マイナス幅はごくわずかだった。17日発表があった7～9月期の国内総生産(GDP)速報値に基づき試算した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆24年木材需要、2.5%増の8187万㎡ 製材・合板用材の需要増加

・林野庁が公表した2024年の「木材需給表」によると、2024年の木材の総需要量は8187.4万㎡で、前年比で196万㎡(2.5%)増加した。このうち建築用材である「製材用材」は同2.4%、「合板用材」は同3.4%の増加。「パルプ・チップ用材」は同3.4%減少。また、木質バイオマス発電用などの「燃料材」は11.0%増加した。

◆投資用マンション節税に歯止め、相続直前購入なら税重く 政府・与党検討

・他人に貸すことを目的に購入したマンションやオフィスビルといった投資用不動産の相続を巡り、政府・与党は相続税を算定する際の物件の評価方法を改める検討に入った。生前に買った時点から一定の期間内に相続する場合、現行の路線価でなく購入時の価格に基づいて評価するルールに変え、税負担を上げる。政府が改正案を示した。

◆建設業界団体、「サラリーマン山崎シゲル」の独自動画でやりがいPR

・日本建設業連合会はマンガ「サラリーマン山崎シゲル」を使ったオリジナルのマンガやアニメを制作すると発表。動画配信サイトなどを通じ、建設業のやりがいや面白さを訴える。人手不足が深刻化するなか、若者との接点を増やす。お笑いタレントの田中光さん原作。12月16日からYouTubeやTikTokでオリジナルアニメを4作品公開する。

《 注目商品 》

■パナソニック、コンパクト化と使い勝手向上を両立 compact-3 plan

・コンパクト化と使い勝手向上を両立した対面キッチンの新プラン。横並びの3つのコンロ「フラットワイドコンロ」、奥行を拡大し、3方向から囲んで使用できる「ラウンドアクセスシンク」、大容量で450mm幅の「フロントオープン食洗機」搭載プラン。



■永大産業、洗濯家事を効率化するランドリー収納

・洗濯家事の「洗う」「乾かす」「たたむ」「しまう」の作業を1カ所に集約し、効率化するランドリールーム専用の収納製品。乾燥機をカウンター下に収納、作業スペースを確保、汚れものなどを予洗いできるステンレスシンク、洗剤の収納に便利なスリム引き出しなどを備える。



■LIXIL、簡単に後付け可能な室内ドア向けスマートロック

・室内ドア向けスマートロック「Ohea Lock(おへやろく)」を発売。専門業者に依頼しなくても、住まい手自身がドライバースを使って15分程度で後付けできるスマートロック。箱錠のみを交換、原状回復ができるため賃貸住宅にも取り付けられる。

